

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 4 区分
 【発行日】平成31年4月4日 (2019.4.4)

【公表番号】特表2014-506113(P2014-506113A)
 【公表日】平成26年3月6日 (2014.3.6)
 【年通号数】公開・登録公報2014-012
 【出願番号】特願2013-554043(P2013-554043)
 【国際特許分類】

H 0 2 P 9/00 (2006.01)

【 F I 】

H 0 2 P 9/00 E

H 0 2 P 9/00 F

【誤訳訂正書】
 【提出日】平成31年2月6日 (2019.2.6)
 【誤訳訂正 1】
 【訂正対象書類名】明細書
 【訂正対象項目名】0 0 0 3
 【訂正方法】変更
 【訂正の内容】
 【0 0 0 3】

交流発電機は、一般的に固定子にある電機子巻線内に A C 電圧を発生させるためにスリップリング (bague) とブラシ又は励磁機のいずれかによって D C 電流が供給される一般的に回転子にある界磁巻線をそれ自体公知の方式で含む。

【誤訳訂正 2】
 【訂正対象書類名】明細書
 【訂正対象項目名】0 0 2 3
 【訂正方法】変更
 【訂正の内容】
 【0 0 2 3】

周波数の関数としての出力電圧、従って、電圧設定値の推移を与える曲線は、電圧が一定に留まるプラトー部と連結される非常に目立つ低下によって結合された 2 つの部分を示すことができる。U / f が最大値 U に至るまで一定である従来の調整も、U が一定に留まるプラトー部を示すが、低下は示さない。

【誤訳訂正 3】
 【訂正対象書類名】明細書
 【訂正対象項目名】0 1 5 5
 【訂正方法】変更
 【訂正の内容】
 【0 1 5 5】

一定の U / f を用いた調整による電圧が最大になると、本発明により最適化された U を用いた速度の関数としての電圧推移は、最大作動電圧を得るための急勾配の電圧増大に起因して低下を示す場合があり、これは、曲線上の公称速度レベル、図示の例では 1 6 0 0 回転毎分における低下によって明らかである。